

URL: <https://dousokai.site/zezekoukou/>
編集・発行/滋賀県立膳所高等学校同窓会
発行日/令和7年4月14日

E-mail: zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp
大津市膳所2-11-1 TEL: 077-524-4295 FAX: 077-524-1732

(同窓会HP)



巻頭エッセー	1
新入会員	1
令和7年度 総会のお知らせ	1
班活動の今昔	2
「業務員さん物語」-後編	2
周年同窓会・記念同窓会	3~6
周年・記念同窓会予告	6
同窓会事業のご案内	6
会員交流会報告	6
同窓会ゴルフコンペ報告	6
会務・会計報告・総会提出議案	7
班活動報告	8
サクラサク・膳所高NEWS	8
石鹿文庫・編集後記	8

巻頭 エッセー



膳所高校での思い出

前校長 嬉野 公人

昨年4月から1年間、富江校長の後任として赴任していただきました嬉野でございます。定年の段階的引き上げにより、本来ならば、令和5年度末に60歳定年退職を県教育委員会事務局で迎えるはずでしたが、定年延長と新設の特例任用制度により、61歳定年までの1年限りで、ご縁のありました本校に再び勤めさせていただきましした。定年最後を膳所高校で迎えられたことは、大変うれしく、また光栄に存じております。しかしながら、校長としての務めを果たせたのか、本校のお役に立てたのか、甚だ心もとない限りです。校長室には歴代校長の写真が飾られており、写真を見るたび叱られている気分になっておりました。

私は本校に昭和62年4月から平成7年3月までの8年間、新任の社会科教員として勤務し、先生方や生徒に教員として育てていただいたと考えております。以来約30年ぶりに帰ってまいりましたが、膳所高校の良き校風や伝統は変わ

わっており、様々な学びや班活動等にも、何事にも一所懸命取り組み、成果を上げている生徒の姿がありました。また、担任と一緒にした先生や教員で本校の教員になっている先生、当時からおられる業務員の山田さんや給品の安永さんなど、多くの知己にも恵まれ、居心地の良い職場でありました。施設面では土足であった旧校舎から新校舎となったこと、教育内容ではスパーサイエンスハイスクール関連の高大連携事業や探究学習等の充実や教育備品の整備等、素晴らしい教育環境と充実した教育内容で学んでいる生徒がうらやましく感じました。

ただ、森のおじさんには帰りがけに立ち寄ると、売れ残りの菓子パンをよくいただき、毎日お世話になった湯が大変熱い風呂屋のおばあさんにはバレンタインのチョコレートをもらったこと、床屋のおやじさんには剃刀で頬を切られそうになったことなどを思い出します。

在任中、授業や行事等を通して多くの生徒たちと関わったこと、さらには、卒業35周年記念同窓会、剣道班同窓会やPTA行事などにおいて、また、直接校長室に来てくれたりと、多くの卒業生と再会できたことは本当に嬉しく、大切な時間となりました。あつという間の毎日が楽しく充実した濃密な1年でありました。

今、高校教育は大きな転換点を迎えています。今後膳所高校の良さを継承しつつ、内外の第一線で活躍するリーダーを数多く輩出してきた学校として、また、探究心にあふれグローバルな視野を持つ人材を育成する学校としてますます発展されることを祈念しております。

結びに、これまで同窓会の皆様方には、本校の教育活動に格別の御理解と御支援を賜りましたことに心から厚くお礼申し上げます。引き続き母校の教育振興のため、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会ですますの御発展と皆様の御活躍を祈念申し上げ御挨拶とさせていただきます。

令和7年度 総会のお知らせ

会員皆様方の多数のご出席をお願いいたします。

令和7年度 定例 総会

日時 令和7年5月18日(日) 午前10時
(午前9時30分受付開始)

場所 琵琶湖ホテル
大津市浜町2-140
電話 077(534)1511

総会次第

議事

一、令和6年度会務報告・部会報告
一、令和6年度会計報告・会計監査報告
一、令和7年度事業計画・予算審議
一、その他

講演 「東京スカイツリー」構造技術者の挑戦」
講師 小西 厚夫氏
(膳所高校30回昭和57年卒)

講演者のプロフィール

〔経歴〕
1982年3月 膳所高校 卒業
1989年4月 膳所高校 卒業
1989年3月 神戸大学大学院工学研究科 修了
2012年以降 日本建築学会賞(600m級タワーの風を主題とした構造設計技術)・日本風工学会デザイン賞(東京スカイツリー)・日本PCC工学会賞(心柱制振機構)・NHKぶらタモリ、プロジェクトXほか出演

2017年以降 大妻女子大学(力学)、多摩美術大学(構法デザイン) 非常勤講師兼務

新 入 会 員



膳所高校での出会い

令和7年3月卒業 杉谷 太規

大きな期待と緊張を胸に膳所高校に入学してから、早くも3年が経ちました。膳所高校での3年間は、多くの新しい環境と人との出会いの下に過ごすことができました。その中でも、ポート班との出会いが、私の人生を大きく変えてくれたと思います。

小学校や中学校で少し競技をしていたこともあり、友人からの誘いをきっかけにポート班に入りました。それまでは遊び半分のような気持ちでもあったので、高校では3年間で勉強に費やそうと考えていたこともあり、入班したときは本気でポート競技をしようとは少しも考えていませんでした。しかし、班活動に全力で打ち

込む同級生の姿に刺激を受け、強い先輩に憧れを持ち、ポート競技に気づけば夢中になっていました。そんな中で2年生に進級し、先輩に全国大会に連れていかけてもらったことをはじめとして、その後3年生にかけて五度の全国大会に出場し、日本代表選考にまで挑戦する機会をいただくことができました。

3年間で出場した大会の中でも印象に残っているのは、3年生時に出場した日本代表選考インターハイ、国民スポーツ大会です。日本代表選考では、世界で戦うことを目指した人達と試合をし、交流を重ねたことで自分の視野の狭さに改めて気づかされ、自分の中の競技に対する考え方が大きく変わりました。そして、その後に出場したインターハイは膳所高校ポート班としての引退試合であり、国民スポーツ大会は私にとっての高校でのポート競技の引退試合でした。この二つの引退試合は、日本代表選考での学びをはじめとして、私が3年間を通して得ることができたもの、積み上げてきたものをすべて発揮することができた試合でした。これらの中には今までいただいた指導や経験はもちろ、周りの方々のつながりも多く含まれています。3年間で一番長い時間苦業を共にしてきたポート班のメンバーと出場したインターハイ

イは言わずもがな、滋賀選抜として出場した国民スポーツ大会のときも、ポート班の仲間やクラスメイト、先生方からの応援メッセージが詰まった応援動画が私にとって大きな力になりました。

また、ポートの大会の中には授業を公欠して出場するものも多くあり、そのたびにポート班をはじめとする友人が授業のノートを見せてくれたり、丁寧に勉強を教えたりしてくれたことで3年間の勉強を乗り切り、班活動と両立することができました。

これらのつながりや経験は、全て膳所高校のポート班に入ってからこそ得ることができたものです。この競技だったからこそ、多くのつながりや学びを得ることができました。大学でも、これまでの経験を活かしてポート競技を続けようと考えています。新しい環境でも、膳所高校でできたようなつながりを作り、自分自身を更に成長させることができるよう精進します。

最後になりましたが、ポートを中心とした高校生活を送ることができた環境をはじめとして、切磋琢磨した友人達、日々の指導や大会の引率など様々な面で私たちを支えてくださった先生方には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

高校の科目では数学と歴史が好きでしたが、美術室で油絵の模写をしていた記憶もあります。建築は、工学と芸術の境にある限界芸術と説明されることがあり、卒業後はそのような興味の延長線上にある建築を学ぶこととなりました。また、小学校へはお寺の仁王門の裏に集まり登校するような環境にあり、滋賀では伝統的な木造構造物は生活の中にあるのではないかと思います。「日本らしさ」がテーマとなった600m級タワーの設計を始め、技術的にも、迷わずその中心に「心柱」を取り入れました。技術的には難産でしたが、何故か必ず稼働する気がしていたのは、心柱をもつ革新的な日本の木造多層塔がすでにあったからであると思います。講演では、東京スカイツリーのこのような設計プロセスと背景をお話しさせていただきます。

●懇親会
午後1時からの懇親会に出席していただける方には、当日、総会受付時に懇親会費8,000円をいただきます。出席を申し込まれ、急用等によりやむを得ず欠席される方は早急に事務局に連絡をお願いします。無断及び当日連絡の欠席の場合、懇親会費を申し受けません。なお、同封のハガキは、懇親会・懇親会に出席の方、および住所等に変更のある方のみご返送下さい。

班活動の今昔

◆野球班

班長 谷口潤樹

私たち野球班は現在、2年生12人、1年生11人、データ班が2年生2人、1年生2人の計27人が所属し、第2グラウンドで活動しています。

今年度の野球班は第107回全国高校野球選手権大会で甲子園に出場し、野球班初の甲子園1勝を目指して日々練習に励んでいます。



膳所高校は他の学校の野球部と比べてどうしても練習をする時間が限られてしまします。そこで当班は自分たちで練習メニューを先生と相談をしながら考え、日々班員全員で自分たちには何が足りないのか、足りない部分を埋めるにはどのような練習をしなければならぬのかを話し合っています。必要なことを話し合うことで練習が始まったときに班員がその練習の意図をしつかりと理解し、質の高い練習をできるようにしています。また、全員が練習中に気づいたことを言うようにし班員一人一人がチームを引っ張る思いで練習しています。試合においても目的をはっきりさせて臨むようにし、効率よく成長をすることが出来るようにしています。他にも、ウエイトルームで自分たちの体格を大きくするためにトレーニングを行ったり、食育トレーニングの一環として練習後に米を食べたりしています。

データ班は公式戦や練習試合で県内の高校の特徴や打球傾向などをとり、公式戦で活用しています。また、昨年作った成績を入力すると自動的に成績をまとめてくれる成績記録アプリを活用し、野球班員の個人成績やチームの成績を管理しています。今年は班員が少なく活動が大変ですが、最大限選手をサポートしてくれています。

この恵まれた環境の中で野球を思う存分できることに感謝してこれからも頑張っていきたいと思っています。私たちは見えてくれている人に楽しんでもらえるような、勇気づけられるような試合をしたいと思っているので大会の際には、球場に足を運んでいただけると嬉しいです。今後とも、膳所高校野球班の応援をよろしく願います。

◆放送班

上坂太駈(膳所高72回、令和6年卒)

私たち放送班は普段、「NHK杯全国高校放送コンテスト」(Nコン)と「高等学校総合文化祭」(総文)という二つの大会に向けて放送室及びCAI教室で活動している。これらの大会では、テレビ・ラジオのドラマやドキュメンタリーを制

作して出品する番組部門と、アナウンスや朗読などの発表を行う読み部門という二つの分野で各校が競い合う。

過去にはNコンで決勝(上位10位以内)に進出したほか、プロの声優も輩出するなど歴史ある班である。しかし、一時期班員がゼロになるという危機に陥ったことがあった。現顧問の板倉威一郎先生の働きかけもあり2019年度に2名が入部したが、人手が十分という状況ではなかった。ただ、それでも根気とアイデア次第で下剋上が可能なのが「放送」の面白さである。幸い



にも、活動に必要な機器と指導体制は整っていた。その結果、2021年に総文で全国優秀賞という偉業を成し遂げた。その後も順調に出品数を増やし続け、直近の第71回Nコンでは2作品が県優勝、1作品が県準優勝に輝いた。これを可能にした当班の特長として、少人数ならではのアットホームな雰囲気や挙げられる。各班員が自由にのびのびと制作活動に取り組んだ結果、独創的な名作が生まれ受賞に繋がったのだらう。(もつとも「迷作」が生まれてしまうことも珍しくないのだが)

ゼロからの再生を経て部員は現在11人に上り、放送班は近年さらに勢いを増している。復活以来、声部門と比べ番組部門の戦績が目立っていた。しかし、2024年に着任された北島かおる先生の御指導のもと日頃の練習に励んだ結果、第71回Nコンでは読み部門での県優秀賞・優良賞受賞が並び、2024年度の県総文の朗読部門では優勝に輝いた。また、今年「研究発表」にも取り組み、Nコンの全ての部門に出場するという大業に挑戦した。昼休みの校内放送「BOZラジ」もコンスタントに継続し、さらにはエフエム滋賀とのラジオ番組共同制作にも取り組んだ。今後も進化し続ける膳所高校放送班から目が離せない!

◆バスケットボール班OB

令和6年度OB・OG会総会・懇親会を開催

尾松素樹(膳所高20回、昭和47年卒)

令和7年2月1日(土)午後5時から石山の「可和文」に於いて令和6年度バスケットボール班OB・OG会総会・懇親会を開催した。今回は、長年コーチとしてご指導をいただいた須田武志先生(昭34卒)にご参加いただき、先生を囲む会も兼ねることになった。参加者は、昭和34年卒から平成17年卒までの24名であった。

会は、OB・OG会会長の寺西慶通さん(平8卒)の進行で、本会開催までの経緯と趣旨説明のあと、総会は後回しにして、早速、懇親会に入った。須田先生が持参された試合のプログラムや記録写真を見ながら、その当時の思い出話を花を咲かせたあと、参加者の一人一人が、近況報告と班活動時



代の思い出を語っていただき、つらかったこと、しんどかったこと、悔しかったこと、そして楽しかったことを共有した。令和2年に予定していたOB・OG会創立70周年の記念行事が、コロナのため中止となった。この記念行事の代表幹事である平井和博さん(昭46卒)から今度はOB・OG会創立75周年記念行事として開催したいことが話され、参加者全員の承認を得た。この75周年記念行事については、詳細が決まり次第、膳所高校窓会ホームページでも案内するので、是非ご参加いただきたい。

◆応援団OB

膳所高校応援団OB会(2024.7.15報告)

会長 神山 等(膳所高22回、昭和49年卒)

2018年センバツ出場を機に、昭和49、51年卒が中心になり応援団OB会を結成。徐々にメンバーも増え、7回目となる今回は昭和45、63年卒の20名が集いました。メンバーでもある西居基晴さん(昭59卒)のお店「松喜屋」にて美味しい近江牛を堪能しつつ近況報告や昔話で盛り上がったあとは、応援団恒例の三七七拍子ほか演舞から校歌斉唱、エール一発で締めくくりました。



「業務員さん物語」 ― 後編

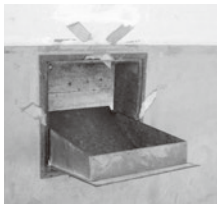
昭和62年4月から現在まで38年間膳所高校にお勤めで、現在膳所高校勤務年数が二番目に長い業務員の山田伸二さんのお話の後編です。(JUNGIDO 41号より続く)

―旧校舎での様子をもう少しお聞かせ下さい。

着任してすぐに気付いたことは、校地内の樹木の剪定、管理が十分とは言えなかったことです。桜の木やクスノキは剪定が必要でしたが大きすぎて私では対応できませんでした。予算も十分に確保できなかったのだと思います。結果、枝が伸びすぎて近隣の家屋に触るものができたり、老木が倒れてしまったこともありました。平成になってしばらく経った頃だったでしょうか、旧校舎裏北西の角にあった高さ十五メートル以上あったヒマヤラ杉が、朝出勤したら倒れていたこともあり、校地西側の松の老木も倒れ、境界のフェンスが曲がってしまったこともありました。

もう一つ旧校舎で特徴的な作業として「ダスト・シュート」のゴミ処理があります。最近の建物では見かけませんが、旧校舎では各階の廊下の壁に五十センチ四方くらいの扉が付いていて、そこを開けてゴミを捨てると中の空洞を通して下まで落ちると言うゴミの捨て方をしていました。私の仕事は下の処理口を開けて中のゴミを取り出し、焼却するということでしたが、ゴミの量が多く、埃や臭いでもかなり厳しい作業でした。校地内の落ち葉の焼却も大きな仕事でした。現在よりも大木の数も多かったのだで、落ち葉がものすごい量でした。今は学校で焼却処理することが禁じられていますが、以前は各学校に焼却炉があり、校内で出た可燃ごみを学校で焼却していました。膳所高校にも校舎裏にかなり大きな焼却炉がありました。

旧校舎も平成に入るとかなり年数も経ってきたため、外壁の剝離が目立つようになりました。実は一号棟、二号棟とも裏側(北側)の壁面はほぼ全面改修されていました。



ダスト・シュート(廊下側から)

二次会とは同窓の浜辺容子さん(昭54卒)のお店、「フラミンゴ」に移動し、応援団で鍛えた自慢のノドを競い合いました(フラミンゴは2025年1月末に閉店。お世話になりました)。会話の中でメンバーの令嬢がチア班OGであることが発覚。いつかはチアの皆さんとも交流の輪を広げることができれば幸いです。

◆ヨット班OB

令和6年膳所高校ヨット班OB総会・懇親会報告

瀧田 聡(膳所高23回、昭和50年卒)

毎年お盆前の時期に開催している「OB総会」を、今年も8月10日(土)に行いました。場所はOBの一人が経営している唐橋の松喜屋です。いつも美味しい肉料理と美酒飲み放題で話が盛り上がりまします。出席者の年齢差は20歳以上になりますが、ヨットの話をすれば(共通の話題)になります。記念撮影をして来年の参加を誓いあつてお開きになりました。

段々と高齢になる傾向ですが、若いOB・OGも参加出来るよう、工夫して盛り上げて参ります。

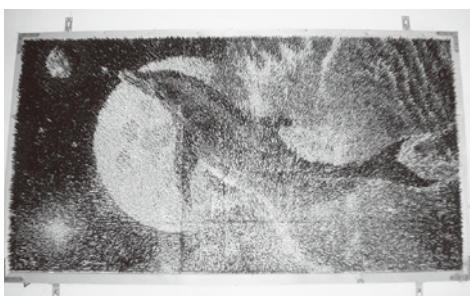


―生徒との関わりはそう多くはないかなと思うのですが、生徒との思い出、印象をお聞かせください。

直接生徒さんと何かするという仕事ではありませんが、毎日学校生活の様子を楽しみ見せていただいています。昭和の生徒さんは「凝り性」「マニアック度が高かった」と言う印象があります。文化祭での作り物で、何千本の爪楊枝に彩色して大きな板の上に丁寧に立ててイルカのレリーフを作っていたのが印象に残っています。最近の生徒さんは、よく気軽に声をかけてくれます。文化祭の準備では校内装飾の工夫の仕方や壁面装飾の際に注意することなどアドバイスを求められることも多いです。

―最後に

旧校舎は外壁が青みがかったグレーのタイルで、あまり汚れも目立たなかったのですが、新校舎は真っ白です。雨だれ等の汚れが目立って残念です。外壁に対しては私が何か出来るわけはありませんが、せっかくの素晴らしい校舎ですのでせめて内部、周辺はきれいに保てるように心がけたいと思っています。



文化祭作品「爪楊枝のイルカ」(廊下に展示)

「給品(購買)物語」の安永さんに続き、今回も長年勤続の山田伸二さんにお話を伺いました。教員、生徒、卒業生とはまた違った視点で見た膳所高校も感じていただけたでしょうか。今回は「ダスト・シュート」「格子状のブロック外壁」「焼却炉」等懐かしいお話も出てきました。皆様もしばし高校時代にタイム・スリップしていただけたのではないですか。

山田さん、お忙しい中ありがとうございます。同窓会HPに関連写真を多数掲載しています。是非ご覧ください。(同窓会HP上のバナー「会報バックナンバー」へ)

周年・記念 同窓会

70周年記念同窓会（東二会）

（東高2回、昭和29年卒業）

2024年5月15日、琵琶湖ホテルにて、「東二会七十周年記念同窓会」が催されました。出席者は、総勢26名でした。

「東二会」は、大津東高校第二回卒業生の会という意味で、現在の膳所高校の前身です。一昨年の秋は、米寿を迎える歳で、是非実施しようということで、男子10名、女20名の参加者でした。



さて、今回は、卒業後70周年記念になる節目の年でもあり、皆さんの賛同を得て、開催の運びとなりました。参加者は26名（内、女子12名）でした。開会の挨拶があつて、物故者への黙祷を捧げ、乾杯、宴会へと進み、窓いっぱい広がる美しいびわ湖をながめながら、旧交を温め、また、親しい方々との会話の時を楽しみ、元気を交換しながら、感謝のうちに時間のたつ短さを感じる中、全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、開会の挨拶で会を閉じました。

最後に会場のレイアウトを変更し、記念写真に納まり、それぞれの生活の場に帰りました。（原田）

65周年記念同窓会

（膳所高7回、昭和34年卒業）

雨模様心配された天候の中、令和6年9月15日に49名の参加者のもと、母校でミニ同窓会を開催しました。これまで毎年開催していた同窓会を、昨年（令和5年）で一様区切りをつけて終わりとしました。今年はミニ同窓会として開催することにしました。形式は母校を訪問し、在校生と触れ合う事でした。



会費は少なく済むようにすることを目的としました。内容は二部形式で、一部は吹奏楽班の生徒さんによる吹奏と合唱を聞き、また私達と一緒にのんびり楽しい唱歌を歌うことでした。久しぶりに生演奏を聴き楽しい時間を過ごしました。開催に

際しては、吹奏楽班担当の廣森典子先生に大変お世話になりました。終わりに母校の教師だった須田武志君より感謝の気持ちを込めて謝辞を述べてもらいました。

二部は会場を移動し、校内にある同窓会館、セミナーハウスで樋口寛君の進行のもと懇親会を持ちました。食事は弁当を注文しアルコールの無い会食でした。歓談する中で、我々が入学時は木造校舎だったのが、今は立派な校舎に変わっていることに時代の流れを感じたものでした。また校庭を散策して校歌碑が無いことに寂しさを感じました。歌碑のことから恩師の先生方が校歌誕生に苦勞されたこと等が話題となりました。以前に同窓会に碑の建立を提案したのですが、現状では難しいとのこと却下されました。いつの日か歌碑が建立されることを念じています。

歓談の途中に、サブライズで数名の生徒さんによる演奏があり、一層会は盛り上がりしました。最後に会の開催に尽力してくれた幹事諸氏に感謝し、物故者が増えるなか皆々の健康と次回の再会を祈念しお開きとしました。（井上・園田）

60周年記念同窓会

（膳所高12回、昭和39年卒業）

令和6年7月11日（木）午前11時半より、琵琶湖ホテル「瑠璃」の間に昭和39年卒業の60周年記念同窓会を実施、無事終了しました。参加人数93名（内女性23名）が参集し、懇親会では、懐かしの青春歌謡を歌い、メロの歌として琵琶湖周航の歌を、参加者全員で大合唱して楽しく有意義な一日となりました。

なお、学年での周年同窓会も、今回を持って最後にするにと致しました。今後は、開催を希望される方が幹事として運営いただきたい方たちは、久しぶりの再会をお互いに喜んでおられました。

最後に、同窓会本部よりお祝い金をいただきました。また、いろいろとお世話になった事務局の皆さんに心から御礼申し上げます。（柴山茂）

60周年記念同窓会

（膳所高13回、昭和40年卒業）

令和6年10月30日（水）12時 琵琶湖ホテル三階瑠璃の間に開催。

卒業後55周年同窓会がコロナの影響で開催するか否か迷いましたが結局断念することになりました。しかし、喜寿を迎えた今年開催したいと言う要望が多く、60周年を一区切りとして開催することといたしました。前日までの雨も止み好天にめぐまれ快晴の下開催いたしました。残念な事に、同窓会開催を主導してくださった実行委員長の永味君の参加は病の為実現いたしませんでしたが、受付時間の前から大勢の同窓生が会場に集まり、開催が切望されている事が感じ取れました。

一次会参加者は119名で二次会参加者は81名でした。実行委員会の提案で、座席は二年生の時のクラス別のテーブル分けて、増田さん・池田君の司会で始まり、一部は校歌斉唱

後、物故者に黙祷を捧げ、その後、卒業アルバムから亡くなられた同窓生84名の写真をスライドで観て、改めて60年の長さを感じた次第です。実行委員長代理の大崎君の挨拶、来賓の川戸同窓会長の祝辞があり、一番遠方からの参加者片岡君の乾杯の音頭で1部終了。その後2部、懇親会に入り同窓生でプロのトロンボーン奏者西山君の演奏を聴きながら旧交を温めて懐かしい話題・想い出に花を咲かせ、「あの日あの頃」と題したスライドで旧校舎や班活動を観ながら楽しい一次会を過ごしました。二次会は二階ロビーの間に会場を移し更なる盛り上がりで、この勢いだとい65周年の二区切り目も必要かなと思わせる会になりました。



同窓生皆様のご健勝をお祈りいたします。（米田滋）

55周年記念同窓会

（膳所高17回、昭和44年卒業）

猛暑の中、令和6年8月3日に、琵琶湖ホテルで111名が集い、卒業55周年記念同窓会を開催しました。今回は、1年生のクラスで席を決め、入学当時の思い出話に大いに盛り上がりました。同級生の書いた本の紹介（「せんせい」のほんね 元教師まえせんこと前田先生の独白）「ガン患者のための 般若心経」や、遠方からの参加者の近況報告、ゴルフのグループへのお誘いなどがあつた。最後に校歌を歌って、二次会へと流れました。

今回は、これが最後かもしれないという思いもあって、過去の集合写真や、返信ハガキの近況報告については45、50周年分も再録し、55周年記念冊子を作成しました。これまでに6回の開催をすることができました。これまでの同窓会開催にご尽力頂いた、世話役の皆様、膳所高校同窓会事務局の皆様、心より御礼申し上げます。（笠正人）



50周年記念同窓会

（膳所高20回、昭和47年卒業）

令和6年11月9日（土）、琵琶湖ホテルにおいて、昭和47年卒業生の卒業50周年記念同窓会を開催いたしました。新型コロナウイルス禍により開催が3年遅れとなりましたが、感染状況も落ち着き、ついに同級生81名と恩師の三島宏先生を含む総勢82名が秋晴れのもと、一堂に会することができました。冒頭に鬼籍に入られた恩師や同級生の方々に黙祷を捧げました。続いて恩師の三島宏先生からお言葉を頂きました。

その後、現在も非常勤講師を務める仁科守博君から膳所高校の現在の雰囲気や学生の様子などを語って頂きました。懐かしさがこみ上げてきたところで宴へと進みました。今回はめいめいが再会を自由に楽しんでもらうことを主に考えて何も企画しない企画をしました。皆さんがあらこちらで思い出話や近況報告や健康の話などで盛り上がり、あつという間の3時間でした。最後に全員で校歌を斉唱し、改めて母校への誇りと愛着を認識し、再会を約束してお開きとなりました。（矢野邦彦）



50周年記念同窓会

（膳所高22回、昭和49年卒業）



昭和49年3月卒、第22回卒業生一同は、令和6年8月11日（日）に琵琶湖ホテル

において、卒業50周年記念同窓会を開催しました。当日は同窓生134名、恩師の先生3名（嶋寺先生、三嶋先生、野田村先生）のご出席をいただき、総勢137名の参加者で大いに盛り上がりました。

卒業20周年を期にスタートした同窓会も、多くの同窓生の協力のもと、5年ごとの開催を続けてこれました。60歳を迎えてのビアンカに乗船しての「還暦クルーズ」を含めると今回で8回目の開催となりました。

50周年という節目でもありましたので、「初めて参加した」という同窓生も数多くありました。

卒業してから50年ともなると、現役時代、滋賀から離れての生活から、滋賀に戻って新たな生活を始めた人、時間の余裕ができた人など、一次会だけでなく、二次会、三次会と現役時代とは少し違って、みなさんゆったりとした気分、旧交を温めることができました。

開催当日は猛暑の中でしたが、準備にあたった実行委員さんの日頃の行いがよかったのでしょう、お天気も良く、無事開催することができました。

5年前の45周年記念同窓会を開催した直後から5年後の開催を目指して、地元メンバーを中心に、何かと理由を付けて集まり（会議とは名ばかり、ほとんど飲み会が中心だったような）、準備をすすめてきました。神山等実行委員長の「参加者150人超え」を目標に、これまで一度も参加していなかった人にも積極的に声をかけました。開催日がお盆前だったこともあり、「子どもたちが里帰りするから」等の理由で出席できない人もたくさんいて、今回も参加目標を達成できなかったことは残念でなりません。とは言え、この5年の準備をとおして、若い時よりも同窓生の絆がより深まったように思います。

会の終わりにには実行委員長から「Eグループ」の立ち上げが提案され、当日だけで120人を超える同窓生が登録してくれました。これからは「Eグループ」を通して、周年同窓会だけでなく、身近な情報を交換して繋がりがながら同窓生との交流を続けていけることを願っています。（國松完二）

45周年記念同窓会

（膳所高26回、昭和53年卒業）

コロナのため、1年遅れになった45周年同窓会を、2024年8月10日、琵琶湖ホテルにて開催しました。直前の地震で南海トラフ



恩師の先生方4名、同級生122名が参加してくださいました。

卒業以来7回目の同窓会で、恒例になっている一人ずつの近況報告では、皆さんが足りないくらい楽しいそうに話してくださいました。退職を機に滋賀県に帰ってきていたり、今だからこそ参加できた如初参加者もいて、嬉しい再会となりました。

全員で校歌を歌って閉会、ホテル内での二次会には76名が参加し、盛大な同窓会となりました。

次回同窓会は、卒業50周年となる2028年8月11日（祝）に開催の予定です。次回からはお昼開催としますので、一人でも多くの方が参加くださいますようよろしくお願いいたします。（秋山（居嶋）洋子）

45周年記念同窓会

（膳所高27回、昭和54年卒業）

同窓会は楽しい。おそらく皆さんそう感じておられるでしょうし、そう感じる同級生が集うから、なお楽しい会になるのだと思います。私たちの学年でも25周年から5年ごとに同窓会を開催しており、今回45周年の記念同窓会を2024年4月28日（日）に琵琶湖ホテル「琉璃の間」にて開催しました。参加人数は141名で、加えて3名の恩師（羽野正孝・井上太刀夫・岩越正文の各先生）のご臨席を賜りました。2次会にも122名がなだれ込み、旧交を深め合うことができました。また、同窓会に先立ち午前中には母校にて恩師による特別授業という企画があり、井上・月原両先生と同級生の神田君（元膳所高教員）から面白くて勉強になる話を伺うことができました。それにしても、御年70歳の月原先生が63歳の我々よりもはるかに若々しくお元気だったのには驚かされました。

今回の同窓会幹事会は各クラス1〜2名で構成し、事前に3回の対面会議とLINEによる細かな打ち合わせを行いました。幹事会の最も重要な作業は住所検索です。これまでの努力の積み重ねもあって450名の9割以上は把握できており、その結果が150名近い参加者に繋がっていると考えています。また、前回はコロナ前の2019年で、今回はコロナ明けということ、5年ぶりの同窓会が無事に開催出来たことは幸運でした。

さて、45周年ともなれば還暦



を過ぎたおじさんとおばさんの集まりです。しかし、心は徐々に18歳に戻っていきます。お互いに敬語を使いつつも、目の前の彼／彼女の昔の面影と（立派になられた）現在の風貌とを頭の中で比較しながら、昭和から令和にわたる45年間に想いを馳せます。言葉の端々に懐かしさと安らぎを感じながら、ふと人生の実りと儚さを想う瞬間がありました。それらをひっくるめて、駆け足で楽しい時間が過ぎたという印象です。幹事をはじめ参加者の皆さんに、そして45周年同窓会が滞りなく開催できたことに、心から感謝いたします。

今回は50周年の予定です。今回参加できなかった同級生の皆さんにも参加いただけるよう、早めに日時を設定して案内したいと思っています。地球温暖化や少子高齢化で日本社会が緩やかに衰退を始めている中、老人の肩身が狭くなる世の中ではありますが、もう少し世の中に貢献しつつ長生きをして楽しい同窓会を迎えたいものです。（大田伊久雄）

40+α周年記念同窓会

（膳所高29回、昭和56年卒業）

令和7年1月4日、びわ湖大津プリンスホテルで同窓会を開催しました。本来は4年前の開催予定でしたが、コロナの影響その他諸般の事情のため少し遅くなり、「+α」のついた会となっていました。恩師5名を含めた95名の出席でした。還暦を過ぎた私たちは、定番の健康・病気の話題はもちろん（？）、定年後の第二の人生を歩み出している人も多く、過去の懐かしい話だけでなく現在・これからの話でも大変盛り上がりしました。幹事作成の「膳所の町と膳所高校の今昔スライドショー」（あの「美富士」の閉店・取り壊しにはざわめきました）や欠席者の近況報告も載せた冊子の配布、嶋寺先生撮影の当時の8ミリ映像の上映もあり、懐かしさは一入でした。同ホテル最上階「トップオブオオツ」での二次会にも55名の参加があり、一層話は盛り上がり、名残は尽きませんでした。全体写真の送付や次回の開催の連絡を円滑に行う意味も込めて、クラス単位でのライングループ作成やメールの利用も推奨し、次回での再会を約束しました。（安田直紀）



40周年記念同窓会

（膳所高30回、昭和57年卒業）

令和6年8月11日、琵琶湖ホテルにて同窓会を開催いたし

ました。5年ごとに開催してまいりましたが、実際の40周年はコロナ禍の最中。はからずも全員が満60歳を迎えたタイミングとなり、還暦祝いも兼ねて集まることができました。当日は同じフロアで、50周年記念の同窓会をされる昭和49年卒の先輩方と30分だけ時間差での開始。早めに受付に来られた先輩出席者のお名前に「名簿にないようですが？」というようなハプニングもありましたが、思わぬ交流を持てました。

恩師3名のご出席もいただき、会場いっぱい125名で過ごす時間は話も尽きず、あつという間に感じられました。アイディア豊富なメンバーの活躍で、同窓会用のホームページ、サブライズ演奏、記念品（写真をご覧ください）などなど、盛りだくさんな内容になったかと思えます。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。（畑知也子）



40周年記念同窓会

（膳所高32回、昭和59年卒業）

遠方より友きたる。

2025年1月3日、びわ湖大津プリンスホテルに於いて、先生方8名、同窓生137名が一堂に会し、昭和59年卒還暦記念同窓会が開催された。

冒頭、ご逝去された先生方、残念ながら会うことが叶わなかった旧友に黙祷。

そして、膳所高生・OBの課題図書でもある「成瀬は天下を取りに行く」の成瀬の生き方を題材に、大会長西村康子さんの開会のスピーチのあと、最年長の西村勝晴先生の乾杯の音頭でいよいよ開宴。

すれ違うたびに握手を交わし、肩をたたきあい、ハイタッチをしてはハグを繰り返しながら、思い出話や近況報告に忙しい。

不思議なことに、10年、20年、それ以上会ってなくとも、一瞬にして名前がするすと思ひ出され、セーラー服にタイムスリップできてしまう。

我々世代、一応スマホは所有しているが、込み入った操作が苦手である。目を細め、腕を長めに伸ばし、小さな画面をのぞき込む。「招待」ってどうするの？え、それどこ？そんな無い！隣同志で助け合い、ようやくEグループがいくつも誕生した。途中、1学年時のクラスに席替えをしたのだが、これが想像していた以上に盛り



上がった。
宴もいよいよ終盤へさしかかる。山本正史先生のお言葉のあと、先生方への記念品贈呈、校歌斉唱。中締めめのは、ホテル38階のTOP OF OTSUにて2次会。夕暮れの琵琶湖を一望できる絶景の中、再び杯を重ねた。
夜のとりきが下りる中、名残惜しくもホテルをあとにしたが、3次会、4次会が琵琶湖線沿いのどこかで続いていたはずだ。

最後に。
学年幹事をずっと引き受けてくださっている中山ご夫妻に、心から感謝いたします。
(斉藤(山本)由美)

35周年記念同窓会

(膳所高38回、平成2年卒業)

2025年1月2日、琵琶湖ホテルにて卒業35周年同窓会を開催しました。参加者は恩師8名を含む総勢189名もの大人数となり、この年代としては異例の多さだそうで、それだけ我が学年の膳所高愛と友情の深さを感じました。

久しぶりの再会ということで受付時は緊張感が窺えましたが、友の顔を見つけるや否や笑顔が弾けすぐに賑やかな会話が広がりました。すでに大変な高揚感が会場を包む中、三日月大造君の乾杯の発声にて開演！皆がたちどころに18歳の頃に戻りあちこちで談笑の輪ができ、高校時代の写真を上映するなど終始大変な盛り上がりでした。友との夢のような2時間半はあっという間に閉演しましたが、更に隣室での二次会に突入！二次会にも144名もの参加がありたくさんの仲間たちと語り合え、今後の人生に刺激と豊かさを与えてもらえた素晴らしい会となりました。
今回出席の方、残念ながら欠席だった方も次回開催の7年後、60歳還暦で再会しましょう！
(田之畑邦彦)



32周年記念同窓会

(膳所高40回、平成4年卒業)

令和6年9月22日(日) ホテルポストンプラザ草津にて平成4年(1992年)卒の同窓会を開催しました。我々の学年はオリンピックイヤー毎に同窓会を開催しており前回は2022年1月開催でした。ただ四年毎に開催しているため出席者に偏りがあったりマンネリ化したため、今回は色々と工夫を凝らしました。

★開催時期を1月から9月に変更。1月だと子供が受験生の

場合、出席したくても欠席せざるを得ない方が多いです。特に受験生ママとなると簡単に家から出られないため9月開催にしたおかげで女性の出席者が多くありました。

★開催場所を大津から草津へ変更。ホテルポストンプラザ草津は草津駅から徒歩1分と利便性に優れているためです。現在は滋賀に実家がない同級生も利便性が良く多く参加してくれました。

出席者は80名とここの数年の開催の中では多数の参加がありました。

一次会ではクイズ大会(1990年頃の懐かしいCM、テレビ番組、歌などから、また卒業アルバムからのクイズもありました。)で大盛り上がり！これも時代ですが、YouTubeから「膳所高校 旧校舎」で見つけた動画を供覧しました。旧校舎の動画をみていると青春時代が一気によみがえり、動画に涙する人々もあり感動しました。そのあとはこれまた検索で拾った膳所高校校歌を合唱。最後に記念撮影をクラスごとと全体と行い終了しました。

二次会は近隣のお店を貸し切りしました。参加者70名。ほぼ全員二次会参加してくれました。写真からもわかると思いますが最高の笑顔で同窓会を終えることができました。
我々51歳ですが、仕事上の立場も責任あるものとなり、家庭などは子どもの進学、親の介護問題など様々なことがあります。みんな必死で頑張っていると思います。そんな頑張っている日々の息抜きとして同窓会がみんなの役に立てばいいな、と思っています。今回の同窓会をきっかけに班活動のLINEグループも作れてつながることが出来たと喜びの声も聞きました。人と人とのつながり、本当に大切です。また次回オリンピックイヤーにお会いできますように！まだまだ人生楽しんでいきましょう！
(那須(満島)準子)

30(+)周年記念同窓会「50歳のついで」

(膳所高41回、平成5年卒業)

朝は小雪が舞ったものの、湿漉の湖に新春の陽光が映えた令和7年1月4日昼、93年卒業生119名と恩師8名が琵琶湖ホテルに集い、11年ぶりの同窓会が開かれました。
約32年ぶりに再会する人も多く、受付から歓声とも悲鳴ともつかぬ盛り上がりの中、受付担当間では「恩師用リボンバラ渡さなアカんで」「いや、彼は同級生やろ?」「…分からん」なんて会話も。当時のヒット曲が流れる会場に無理矢理押し込み、いざ開宴！

成田政隆君司会の下、大重雄一君の開会挨拶、膳所高名物イサク(坂口)先生の乾杯御発声の後、歓談へ。
30年前なら「写ルンです」で撮る写真も、今はスマホで撮っ



て共有するなど、時代の進化を感じる一方、そのスマホは腕を伸ばし目を細めて見るなど、輪相応の「老い」を感じたり、タイムリープしてときめいたりしているうちに矢のように時は過ぎ…

恩師の先生各位からお言葉を頂いた後、全員で校歌斉唱！上田純平君の中締め挨拶後、お開き：のはずが、まだまだ話し足りるわけもなく、大津駅周辺で二、三、四：次会まで展開されたのでした。

(※幹事団(在校時の氏名) 上田純平・澤渡麻紀・長田弘美・成田政隆・糸井良太)

30周年記念同窓会

(膳所高42回、平成6年卒業)

2025年1月3日、琵琶湖ホテルに3名の恩師と77名の同窓生が集い、卒業30周年記念同窓会を開催しました。前回開催が2020年の同日で、その直後に始まったコロナ禍を通じ、会いたい人に会えるということの脆さを痛感して今回の開催に至りました。

受付時点から久々の再会を喜びあう笑顔に溢れ、一気に時空を超えたような感覚に皆が浸っていました。また当時生徒会長を務め、今はパフォーマーとしてグローバルに活躍されている池田洋介さんのステージに、その場の全員が大きなエネルギーを貰いました。

50歳の前祝も兼ねた今回、それなりの経験を積んできたつもりが、恩師の御言葉に触れて「まだまだ成長せねば」と感じた同窓生も多かったように思います。また、終了後に寄せられた「あの時代を膳所校生でいられてよかったです」という同窓生のコメントに皆が激しく首肯していたはずでした。

今回は残念ながらご参加が叶わなかった方々からも、多くの温かいメッセージをいただきました。また次回、元氣にお会いしましょう！(大西徹也)



10周年記念同窓会

(膳所高63回、平成27年卒業)

2025年1月3日にホテルグランヴィア京都にて、卒業10周年同窓会を開催しました。

当日は約170名の仲間が全国から集まり、また、恩師の先生方にもご多用の中11名ご出席いただきました。

学年主任であった下垣先生による乾杯の音頭で始まった歓談の時間は、美味しい料理に彩られ、大変盛り上がりしました。参加者一人ひとりが過去10年の経験や成長を語り合い、友情を再確認する貴重な時間を共有しました。そして最後には全員で校歌を斉唱し、在学時代の懐かしい思い出と共に、その瞬間を分かち合いました。

卒業して10年経っても変わらず集まることができるのは幸せなことだと思います。次回は5年後、卒業15周年同窓会でお会いしましょう。
(達(猪飼)更紗)



5周年記念同窓会

(膳所高68回、令和2年卒業)

令和7年1月3日、膳所高校卒業5周年記念同窓会をホテルグランヴィア京都にて開催いたしました。同窓会当日は当時の先生方10名と卒業生228名の総勢238名と、大変多くの方に参加をいただき大変嬉しく思います。よく見る顔と数年ぶりに見る顔が一堂に会し、昔話を交わせた今回の同窓会は素晴らしい会になったと思います。特に当時の先生方にも多くご参加いただいたことに大変感激しました。先生方と当時の話や今の話をするのができ、より一層学生時代を思い返すきっかけとなりました。久しく連絡を取っていなかった友達とも話をする良ききっかけとなり、それぞれの今や将来の話聞くことで、自分に取って刺激となり今後の活力が湧いてくるような貴重な機会でした。

すでに次回の同窓会の開催が5年後の10周年記念同窓会という事に少し寂しさを感じていると同時に大変楽しみにしています。10周年記念同窓会も沢山の方が参加できることを心より願っております。

会場を準備して頂いたホテルグランヴィア京都のスタッフの方々、同窓会開催に関して数々の助言をくださった同



窓会事務局の方々、企画・運営をして頂いた令和2年度同窓会幹事の方々、そして参加してくださった卒業生・先生方、この場を借りてお礼申し上げます。
(濱口航)

二十歳の記念同窓会

(膳所高71回、令和5年卒業)

令和7年1月13日、びわ湖プリンスホテルにて令和5年卒第71回二十歳の記念同窓会を開催しました。

全体の8割を超える総勢331人の卒業生が寄り合い、二十歳という節目の年を無事に祝うことができました。膳所高校に在勤されている方に限らず、恩師の先生方もお越しいただき、大変盛大なものとなりました。

2年間の時を超えて当時を懐かしみ、思い出や将来を語り合いながら、かつて共に困難を乗り越えた仲間とたくさん写真を撮り、思い出を作るとても充実した時間になりました。

卒業生はみんな、コロナ禍を乗り越えた高校生活を糧に、各々の道で奮闘する姿がとても輝かしく、膳所高校で同じ時を過ごすごうございました。

5周年記念同窓会も、多くの先生方のご参加をお願い申し上げます。更に成長した姿を見せられるよう精進します。

出席して下さった先生方、並びにプリンスホテルの関係者の方々、ありがとうございました。(幹事一同)



◆同窓会事業のご案内◆

①第30回 膳所高校同窓会ゴルフコンペ

- ・日時 令和7年9月15日(月・祝)
- ・場所 メイプルヒルズゴルフ倶楽部 甲賀市信楽町田代65
- ・スタート時間 8:00 アウト・イン同時スタート
- ・競技方法 ダブルペリア方式による前半9ホールのハーフコンペ(ストロークプレー)
- ・プレー費 キヤデイ付 15,400円
- ・セルフ 11,000円
- ・会費 3,000円
- ・定員 40組
- ・お一人での申し込みも可能です。学年対抗もあります。(同学年4名以上で学年チームを編成)

②第11回 会員交流会

「大人の修学旅行・びわこ漬け体験」

- ・日時 令和7年6月8日(日)
- ・方面 琵琶湖汽船高速遊覧船「MEGUMI」貸切ツアー 9時 大津港集合、写真撮影、沖島(沖の白石)多景島(白髭神社) 琵琶湖大橋港 17時 50分 大津港帰港
- ・参加費 7,000円(最少催行人数20名) 観光ガイド帯同、ヨシ笛演奏、弁当、拝観料含む
- ・①②共、同窓会の年会費納入者に限定させていただきます。参加当日の納入も受け付けております。お問い合わせ、お申し込みは同窓会事務局までお願いします。定員になり次第締め切ります。(077-5244295)

③「Zプログラム」との連携について

従来より高校で実施されている土曜授業「Zプログラム」において、今年度から同窓会事業との一部連携を調整中です。詳細は同窓会HPにて報告いたします。

◆会員交流会

「開国文化と酒蔵を巡る旅」報告

今年は神戸方面へ「開国文化と酒蔵を巡る旅」。昨年とは季節を変えて6月開催となりました。5月の同窓会総会でも直前のご案内をすることで、当交流会が今までの以上のネットワークとなるべく少し工夫を加えた次第です。その甲斐あってか昨年から少し参加者が増えて30名の申込みがあり、当日は若干の人数減となりましたが、再会を懐かしむ声などに会話を弾ませつつ大津駅前を出発しました。

まず一行は白鶴酒造資料館で酒造りや灘の歴史を学び、その足で北野異人館の散策へ。お見かけしていると参加者の興味の対象は建築物や庭園から異人館内の調度品、さらに近隣のカフェまで、それぞれの経験や見識を交えながら歓談する多彩な時間となりました。続いてランチは神戸南京町へ。食後は中華街での買い物も楽しみ、神戸港クルーズへと行程を進めました。船上からは神戸の街並み、緑鮮やかな六甲山の景色を満喫して旅を仕上げました。今回の交流会では一層多くの皆様とお会いできますように！



◆同窓会ゴルフコンペ報告

コロナ禍を経て昨年度に再開された同窓会ゴルフコンペには、今回は40組147名のエントリーがありました。9月16日(月・祝)メイプルヒルズGCには貸切状態でのご協力を頂き、今年も無事に開催となりました。

受付と同時にロビーは膳所高校一色となり、再会を喜ぶ声や、互いの近況報告に沢山の笑顔が溢れました。猛暑の気配が残る中でしたが、参加者は好プレー珍プレーや会食を通じて、同窓のご縁を存分に楽しめる様子が伺えました。優勝されたS51年卒・後藤敬一さんを始め各賞の該当者には川戸会長から直々の表彰が行われて会場も盛り上がりました。

一方、運営では昨年からの前半9ホールのハーフコンペ形式を今回も踏襲したことで、ホールアウト後の表彰式までの待ち時間が大幅短縮となつて好評を頂きました。またコンペをきかっけに新たなご縁が繋がったり、参加グループごとに反省会や次回の約束を交わされたりなど、素晴らしい交流の場となつていたと感じています。来年は30回記念大会となります。多世代の皆様のご参加をお待ちしています。



〈主な結果〉
個人優勝 後藤敬一様(昭和51年卒)
準優勝 田宮豊様(昭和57年卒)
3位 西川靖一様(昭和36年卒)
団体優勝 昭和57年卒
準優勝 昭和41年卒
3位 昭和48年卒

周年・記念同窓会 予告

◆55周年記念同窓会 (膳所高18回、昭和45年卒)

日時 令和7年(2025)10月12日(日)
場所 琵琶湖ホテル
会費 12,000円
連絡先 谷川 尚己 (090-2704-2870)
imoan2666@yahoo.co.jp

◆55周年記念同窓会 (膳所高19回、昭和46年卒)

日時 令和7年(2025)5月22日(木) 13:00開宴(12:30受付)
場所 琵琶湖ホテル ローズの間
会費 10,000円
連絡先 水谷 正 (090-1891-0527)
その他 詳細は2025年3月下旬にご案内させていただきます。おって前日の5月21日(水)にはゴルフコンペ(大津カントリークラブ東コース)を、また22日の同窓会後には二次会も設定していますので多くの皆様のご参加をお願いいたします。

◆50周年記念同窓会 (膳所高24回、昭和51年卒)

日時 令和7年(2025)5月10日(土) 12:30~
場所 クサツエストピアホテル
会費 11,000円
連絡先 山本 正 (090-3358-4266)
tdsh333@yahoo.co.jp
その他 二次会も予定しています。


◆45周年記念同窓会 (膳所高28回、昭和55年卒)

日時 令和8年(2026)1月3日(土) 13:00~15:30
場所 琵琶湖ホテル 瑠璃の間
会費 未定
連絡先 布施 健次 (090-4766-5452)
k_fuse@parallel.net.in
その他 二次会 琵琶湖の間 16:00~
詳細は各組代表幹事から春ごろ連絡いたします。

◆40周年記念同窓会 (膳所高33回、昭和60年卒)

日時 令和8年(2026)1月3日(土) 12:00~14:30
場所 琵琶湖ホテル
会費 11,000円(予定)
連絡先 澤 博史 (080-5704-8869)
swh10244sayoko@gmail.com
中江 法子 nonno2248@gmail.com
その他 郵便での案内、出欠確認はいたしません。
Face bookの膳所高校S60卒同窓会グループのみで案内予定ですので、アカウントを作られない方は記載の個人メールにご連絡下さい。(個人情報は守秘致します)

◆20周年記念同窓会 (膳所高54回、平成18年卒)

日時 令和7年(2025)8月10日(日) 12:00開宴
場所 琵琶湖ホテル 3階 瑠璃の間
会費 12,000円(予定) ※多少の増減の可能性あり
連絡先 山本 聡 (元3年2組:幹事事務局)
zeze2006dousoukai20th@gmail.com
その他: 各種SNSを通じて案内予定です。(案内ハガキ無し)
幹事からの連絡はLINEのオープンチャットにて行います。こちらのQRコードから参加してください。

https://line.me/ti/g2/0DTjg8QRIHxolvn2dOgiNtw1HeSeutdKgMxGzg?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

◆二十歳の記念同窓会 (膳所高72回、令和6年卒)

日時 令和8年(2026)1月12日(月・祝) 午後
場所 びわ湖大津プリンスホテル 3階プリンスホール
会費 未定
連絡先 上坂 太駈 (080-1755-1227)
uesakataku@yahoo.co.jp
その他 開催時刻、会費については確定次第(夏ごろ)連絡します。

令和 6 年度 同窓会会務・会計報告／令和 7 年度 同窓会総会提出議案

◆令和6年度 同窓会会務報告

令和6年（2024）

4月20日	JUNGIDO第41号発行（27,107部発送）	
25日	令和5年度同窓会会計監査	
5月10日	第1回役員会	
19日	令和6年度同窓会総会（琵琶湖ホテル）	84名参加
6月22日	第10回会員交流会「開国文化と酒蔵を巡る旅」	28名参加
28日	第2回役員会	
9月16日	第29回ゴルフコンペ（メイプルヒルズゴルフ倶楽部）	143名参加
11月1日	第3回役員会	
8日	会費納入再度のお願い	

令和7年（2025）

1月24日	第4回役員会
2月28日	同窓会入会式
3月1日	第73回膳所高等学校卒業式（令和6年度）
14日	臨時役員会
29日	令和6年度同窓会理事会（大会議室）
	JUNGIDO第42号校了（作業終了）

令和6年度開催 周年・クラブOB会

<周年同窓会>

令和6年	4月28日	45周年記念同窓会（昭和54年卒）	琵琶湖ホテル	144名参加
	5月15日	70周年記念同窓会（昭和29年卒）	琵琶湖ホテル	26名参加
	7月11日	60周年記念同窓会（昭和39年卒）	琵琶湖ホテル	93名参加
	8月3日	55周年記念同窓会（昭和44年卒）	琵琶湖ホテル	111名参加
	10日	45周年記念同窓会（昭和53年卒）	琵琶湖ホテル	126名参加
	11日	50周年記念同窓会（昭和49年卒）	琵琶湖ホテル	137名参加
	〃	40周年記念同窓会（昭和57年卒）	琵琶湖ホテル	125名参加
	9月15日	65周年記念同窓会（昭和34年卒）	セミナーハウス遵桜館	49名参加
	10月30日	60周年記念同窓会（昭和40年卒）	琵琶湖ホテル	119名参加
	11月9日	50周年記念同窓会（昭和47年卒）	琵琶湖ホテル	82名参加
令和7年	1月2日	35周年記念同窓会（平成2年卒）	琵琶湖ホテル	189名参加
	3日	40周年記念同窓会（昭和59年卒）	びわ湖大津プリンスホテル	145名参加
	〃	30周年記念同窓会（平成6年卒）	琵琶湖ホテル	80名参加
	〃	10周年記念同窓会（平成27年卒）	ホテルグランヴィア京都	181名参加
	〃	5周年記念同窓会（令和2年卒）	ホテルグランヴィア京都	238名参加
	4日	40周年記念同窓会（昭和56年卒）	びわ湖大津プリンスホテル	95名参加
	〃	30周年記念同窓会（平成5年卒）	琵琶湖ホテル	127名参加
	13日	二十歳の記念同窓会（令和5年卒）	びわ湖大津プリンスホテル	331名参加

<クラブOB会>

令和6年	7月15日	応援団OB会	20名参加
	8月10日	ヨット班OB会	22名参加

◆令和6年度 同窓会会計中間報告（令和6年4月1日～令和7年2月28日）

一般会計

《収入の部》

項 目	予算額	決算額 (令和7年2月末)	予算比	備 考
前年度繰越金	4,993,656	4,993,656	0	
令和6年度分前受会費	5,786,000	5,786,000	0	会費会計より振替
令和6年度会費	4,000,000	3,910,380	△ 89,620	会費会計より振替
同窓会入会金	1,080,000	1,035,000	△ 45,000	新規同窓会入会金345名
雑収入	40,000	66,196	26,196	受取利息、タックシール代等
合 計	15,899,656	15,791,232	△ 108,424	

《支出の部》

項 目	予算額	決算額 (令和7年2月末)	予算比	備 考
総会費	700,000	242,770	△ 457,230	総会
会議費	150,000	83,568	△ 66,432	理事会、役員会
交際費	30,000	8,240	△ 21,760	
通信費	1,000,000	847,736	△ 152,264	会費振込用紙宛名印刷、総会はがき等
旅費交通費	50,000	22,580	△ 27,420	役員会等
支払手数料	500,000	364,894	△ 135,106	会費納入振込手数料、各種振込手数料
雑給与	1,600,000	1,291,010	△ 308,990	
コンピューター関係費	40,000	16,500	△ 23,500	ソフトメンテナンス料金
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	サーバー運用費
事務用品費	60,000	44,035	△ 15,965	コピー用紙他
備品・消耗品費	150,000	130,472	△ 19,528	複合機リース料等
広報発行費	900,000	827,921	△ 72,079	「JUNGIDO」41号発行
広報発送費	2,250,000	2,241,827	△ 8,173	広報封入封緘、広報発送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	特別講座・グローバル研修助成等
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	文化班・体育班活動支援
慶弔費	50,000	0	△ 50,000	
周年同窓会お祝い金	700,000	820,000	120,000	周年記念同窓会18件・クラブOB会2件
各部会費	700,000	681,128	△ 18,872	
「 広報部部会費	「	3,000		
「 事業部部会費	「	467,486		ゴルフコンペ、会員交流会
「 総務部部会費	「	210,642		会費納入再依頼
予備費	4,854,856		△ 4,854,856	
合 計	15,899,656	9,787,481	△ 6,112,175	

差引残高 6,003,751（15,791,232－9,787,481）

会費会計

《収入の部》

項 目	金 額	備 考
前受会費繰越金	13,902,400	R5年度迄の前受金
令和6年度会費	3,910,380	当年度分
前受会費	4,790,000	R7年度以降分の会費
合 計	22,602,780	

《支出の部》一般会計へ振替

項 目	金 額	備 考
令和6年度会費	3,910,380	当年度分の会費
令和6年度分前受会費	5,786,000	R5年度迄の前受金から
合 計	9,696,380	

差引残高 12,906,400(22,602,780－9,696,380)

会費会計及び一般会計残高

18,910,151（12,906,400+6,003,751）

特別会計

《収入の部》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	10,802,838	
寄付	1,209,536	同窓生より
利息	4,864	
合 計	12,017,238	

《支出の部》

項 目	金 額	備 考
残高証明手数料	440	
合 計	440	

差引残高 12,016,798

名簿会計

《収入の部》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,684,082	
名簿売上金	25,200	
利息	746	
合 計	1,710,028	

《支出の部》

項 目	金 額	備 考
残高証明手数料	440	
合 計	440	

差引残高 1,709,588

◆同窓会財産目録（令和7年2月28日）

I. 一般会計及び会費会計 合計

☆郵便局		
郵便貯金	1口	7,003,677
郵便振替	1口	3,426,910
☆滋賀銀行		
本店営業部	普通預金	1,254,148
膳所支店	普通預金	7,064,127
☆手許現金		161,289
計		18,910,151

II. 特別会計

☆滋賀銀行		
膳所支店	普通預金	12,016,798
計		12,016,798

III. 名簿会計

☆滋賀銀行		
膳所支店	普通預金	1,709,588
計		1,709,588

◆ 会費の納入をお願いします ◆

令和7年度の会費を同封の振込用紙にて、コンビニエンスストアまたは郵便局でご納入ください。
振込用紙が入っていない方は、会費を前納されている方です。

1年分 2,000円
5年分 10,000円



スマートフォン
アプリからも
納入できます!!

* 同窓会の運営は、皆様の会費で成り立っています。ご理解ご協力をお願いします。

◆令和7年度 予算(案)

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

一般会計

《収入の部》

項 目	R7年度予算案	R6年度予算	備 考
前年度繰越金	5,352,470	4,993,656	
前受会費	5,246,000	5,786,000	会費会計より振替
当年度会費	4,000,000	4,000,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,065,000	1,080,000	新規同窓会入会金3,000円/人
雑収入	40,000	40,000	受取利息、タックシール代等
合 計	15,703,470	15,899,656	

《支出の部》

項 目	R7年度予算案	R6年度予算	備 考
総会費	500,000	700,000	年次総会（毎年5月第3日曜日）
会議費	150,000	150,000	理事会、役員会
交際費	30,000	30,000	
通信費	1,000,000	1,000,000	会費振込用紙宛名印刷、総会・理事会出欠はがき
旅費交通費	50,000	50,000	役員会等
支払手数料	450,000	500,000	各種振込手数料
雑給与	1,600,000	1,600,000	事務局職員費・交通費
コンピューター関係費	40,000	40,000	ソフトメンテナンス料金
ホームページ運用費	64,800	64,800	サーバー運用費
事務用品費	60,000	60,000	
備品・消耗品費	250,000	150,000	複合機リース料等
広報発行費	900,000	900,000	「JUNGIDO」42号発行
広報発送費	2,600,000	2,250,000	広報封入封緘、広報発送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	特別講座・グローバル研修助成
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	文化班・体育班活動支援
慶弔費	50,000	50,000	
周年同窓会お祝い金	600,000	700,000	30,40,50,60周年は50,000円 その他5年毎30,000円
各部会費	850,000	700,000	各部会活動費
予備費	4,408,670	4,854,856	
合 計	15,703,470	15,899,656	

◆令和7年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流・親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

同窓会では、同窓会の安定的運営の根幹となる会費の納入率の向上に努め、高齢化の進む中で、より多くの情報発信のための広報紙の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化を行い、同窓会活動を充実してまいります。

○総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等を必要に応じ開催します。母校との連携・協議を積極的にするとともに、各部会への協力、調整を行います。

○事業部会 総会時の講演会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修会等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校の後援会活動、文化班・体育班活動・Zプログラムの奨励に努めます。

○広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実に努めます。

○財務部会 健全な同窓会会計の確立のため、同窓会会費の納入促進に努めます。

事務局 会員との情報交換、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への納入依頼、地域、職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理等を行います。

ホームページアドレス <https://dousoukai.site/zezekoukou/>
メールアドレス zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp

